

法人設立時代表理事（理事長）挨拶 （2020年7月～2021年12月）



2018年から医学系大学倫理委員会連絡会議の理事長を務めております吉澤靖之です。この連絡会議は1989年（平成元年）に、当時京都大学医学部教授の星野一正先生が、大学医学部医科大学倫理委員会連絡懇談会という名称で全国の大学の医学部および医科大学における倫理に関する話し合いをする会議として立ち上げられました。

第一回のプログラムを見てみますと、「インフォームド・コンセントについて」議論をしたと記録にあります。我が国において様々な研究倫理指針が制定される10年以上前からこのような議論を行ってきたこの会議の約30年間にわたる歴史を振り返ってみますと、初期には「倫理委員会のあり方」、「臓器移植」、「脳死」が取り上げられ、その後になると「終末期医療」「生殖医療」「医療事故」等々、その時代における医学・医療分野の倫理的課題について議論を重ねてきたことが記されています。

このような会議の活動を踏まえ、また昨今の様々な倫理的枠組みの変化に対応していくため、連絡会議の法人化に向けて準備を進めました。法人化するメリットとデメリット等を慎重に検討を重ねた結果、全国国公私立医学系大学・大学校80校を会員（加盟校）とする法人として2020年7月1日に一般社団法人医学系大学倫理委員会連絡会議が設立いたしました。

COVID-19感染症拡大という未曾有の事態の中、加盟校のみなさまがたにおかれましては法人化にあたり、ご協力とご理解を賜りまして感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の収束にはしばらく時間を要すると存じますが、引き続きご協力とご支援のほどよろしくお願いいたします。

2021年10月吉日